議 事 調 書

事 案 の 表 示	令和4年度第1回聖籠町総合教育会議				
場 所	聖籠町役場3階 第2会議室				
日 時	令和4年11月4日（金） 午前9時30分から午前10時30分まで				
出 席 者	会議構成者	聖籠町長	西脇 道夫		
		教 育 長	近藤 朗		
		教育委員	稲田 健一		
			佐久間 千都		
			深井 一成		
			高橋 真弓		
	事 務 局	総合政策課	課 長	高橋 誠司	
			課長補佐	小林 幸宏	
		子ども教育課	課 長	佐藤 寿	
		教育未来課	課 長	須貝 克徳	
【会議の要旨】 別紙のとおり					

(別紙) 会議の要旨

<p>議事</p> <p>子ども教育課長</p>	<p>(1) 子育て・教育の取組について</p> <p>① 新子育てシステムの課題について (事務局から説明)</p> <p>入園調整により、希望外の園に入園せざるを得なかった方が、7名いたという状況となった。この結果について、なぜそうなったかなどの問合せがあり、入園基準により点数化し調整をしていることを説明し、概ね理解をいただいたが、やむなく了承した方もいた。</p> <p>今年度は、10月末で入園希望を締め切り、これから調整に入っていくが、せいろう幼稚園の入園希望は10名であった。</p> <p>また、私立認定こども園に4名の職員を派遣しているが、法人の考えと町の幼児教育の考えが当初はかみ合わないこともあったが、幼児教育アドバイザーと担当職員が各園に訪問し、課題など相談しながら、調整を行い改善している状況である。</p>
<p>町長</p>	<p>入園調整については、新しいシステムの切り替わりで、大きくクローズアップされた感があるが、これは元々あるもので、これからも起こりえることで、保護者には理解していただくしかないと思っている。</p> <p>当町は、3つの小学校区にそれぞれこども園があり、そこに入園し小学校へ就学していくことが何十年も続いてきたので、そのイメージが保護者の中で大きくあったかと思う。</p> <p>この仕組みが教育の中でどう影響していくかを考えていく必要があると思っている。</p> <p>これについて、ご意見などがあればいただきたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>入園調整は新しいシステムの切り替わりで、クローズアップされたこともあるが、今後、町全体として子育てシステムを考えていくことが大切なことだと思っている。</p> <p>上の子と下の子が同じ所で保育と教育を受けられる環境が整い、前のように2つの園に送り迎えするような負担が解消されていると思っている。</p> <p>今後、軌道に乗ることによって、このシステムが理解され、よい状況になっていくのではないかと考えている。</p>
<p>教育委員</p>	<p>入園調整については、保護者からいろんな意見が聞こえてきた。</p> <p>定員の関係で、行きたいところに行けないというもので、その対応がスムーズになればいいと思った。</p> <p>また、せいろう幼稚園の園児が少なくなっていることが、保護者の中でも心配されていて、来年どのくらい入園してくるのかなどの不安をもっているのが、不安がないようにしてあげられればいいと思っている。</p>
<p>町長</p>	<p>距離的なものは、他市町村の状況を考えれば、ご理解いただくしかないのかなと考えている。</p> <p>また、だれでも乳幼児を気軽に預けられるような体制を整えることを考えている。</p> <p>聖籠町の保護者が、新発田市のイクネスまで行き、子どもたちを遊ばせるという事例を考えれば、聖籠町内にそのような場所があれば距離的な問題は理解いただけるのではないかと考えている。</p>

(別紙) 会議の要旨

	<p>今、運営しているすくすくサロンや一時預かり保育の情報が、保護者の方に十分伝わっていないことも課題と感じている。</p> <p>重要なのは、待機児童をつくらないことと、子育ての悩みを相談できる体制をつくることで、これを優先すべきだと思っている。</p>
教育長	<p>これについては、事務局の方で準備を進めているところで、小さいお子さんを育てている保護者が、外部とのつながりをどのようにつくっていくかが大切なことだと考えている。</p> <p>一人で孤立に子育てすることのマイナス点を考えると、乳幼児を気楽に預けられる場所があり、そこへ通うと色々な方々と触れ合うことができるということは重要なことだと思っているので、定員にこだわらず、受け入れられるような環境が整えられるように進めているところである。</p>
町長	<p>親や親戚が遠いところにいる子育て世帯は、つらい状況もあると思うので、その点も含めた子育て支援を町として力を入れていく必要があると考えている。</p>
教育未来課長	<p>②学力向上取り組みについて (事務局説明)</p> <p>健やかな成長の支援と学力の向上の取り組みについては、これから総合的な支援を構築していきたいと考えている。</p> <p>最初に「1、学ぶ楽しさ、学ぶコツの機会の提供」として、夏休み期間等を利用し、著名な講師による授業をオンラインで実施し、学習意欲の向上と先生の授業力の向上に寄与できればと考えている。</p> <p>次に「2、学校とつながった児童の居場所づくり」として、ランチルーム等を活用した放課後学習の支援体制を整備し、学習習慣の定着、保護者の就労支援、兄弟姉妹友人と一緒に帰宅することによる安全確保、友達との交流、孤独の解消を図ることを考えている。</p> <p>具体的な内容については、まだこれからであるが、町としてはこのような取り組みをしていきたいと考えている。</p>
町長	<p>自宅や学校で著名な方の授業を受けることが可能な時代となり、それを活用し、子どもたちに新しい刺激を与えることは、大事なことであると思う。やってみて見えてくることもあるため、まずは実施したいと考えている。</p> <p>次に、学年ごとに学校の帰宅時間が違うため、早く授業の終わる低学年の子どもが、時間を過ごせるような場所があれば、兄弟姉妹の帰宅時間を揃えることができるのではないかと考えている。そこで学習支援がどのようにできるかは、これから検討していきたい。また、児童クラブとどのように関連付けていくかも考えていく必要がある。</p> <p>これについて、意見などをいただきたい。</p>
教育委員	<p>普段の学校とつながった児童の居場所づくりはとても良いと思う。</p>
教育長	<p>学校施設を有効活用し、学校の教職員には負担をかけない体制をとることが大事だと考えている。</p> <p>また、必要な設備と安全で充実した環境の整備とスタッフの確保も合わせて考え</p>

(別紙) 会議の要旨

	ていく必要があるので、検討しながら進めていくこととしている。
教育委員	<p>健やかな成長の支援と学力の向上の取り組みというのは教育委員会の一番の課題であり、責務である。今の教育界をめぐる状況は大変厳しいが、私どもも含め、学校に関係する皆さんは何か工夫が必要だと思う。</p> <p>教育委員の立場とすれば、今一度教育をよく考え直して、子どもたちの健やかな成長のために何ができるか考えたいと思う。</p> <p>教育は人だと思っている。教育にかかわる皆さんの創意工夫を形あるものにしていかなければならない。お金をかけることも大事ではあるが、私どもの意識改革が一番であると思う。</p> <p>色々工夫はしなければならないが、色んなことにもチャレンジしていかないといけないと思っている。児童の居場所を作ることももちろんだが、私らの発想の中にまだ何か足りないものがあるのではないかと考えている。</p>
町長	もっと新しい発想でやるべきことがあるということは、私もそのとおりかと思う。そのための新たな体制として、教育未来課を組織した。今そこで様々なことを議論していただいているが、お金をかけなくてもまだまだできることはあると思うので、大いに議論していただければと思っている。
教育委員	オンライン授業は、外部からの刺激により、芽がでて伸びていく子が多くなれば良いと思うが、その前に人の話をちゃんと聞けるなど、子どもの素養を育てていく教育も必要だと思う。
教育長	<p>子どもは、純粹で正直なところがあるので、面白い事には、没頭して食いつくように聞き入って考えるという特性があることから、そのようなものをどうやって提供できるのかが重要だと思う。</p> <p>時には我慢することも必要だが、普通の授業にも興味関心をくすぐるような楽しい授業が何より大事だと思っている。</p> <p>オンライン授業は、外部からの強烈的な刺激として子ども達に伝わると思う。</p> <p>また、今年度を実施した事例で、他の小学校の先生に自分のクラスで模範授業をしてもらい、子どもたちが目を輝かせている状況を見て、先生方は大きな刺激になったと聞いている。</p> <p>このように外部からの刺激が、授業自体を変えていくような、全体的な取り組みを検討しているところである。</p>
教育委員	夏休み期間中に学校に生徒が行って、担任の先生と一緒に授業を受けるという案なのか。
教育未来課長	<p>夏休み中に何日か講座を設定して、学校で先生も授業を見て教え方を学ぶという形になるかと思う。</p> <p>自宅か学校かはまだ決まっていない。また、回数や、対象の学年、双方向なのか聞くだけなのかといったこともこれから検討する。</p>
教育委員	担任の先生も生徒と一緒に見るのがいいと思う。

(別紙) 会議の要旨

子ども教育課長	<p>③給食費支援について (事務局説明)</p> <p>10月の教育委員会定例会で承認して頂いた案件。</p> <p>学校給食費は、次年度から幼稚園の給食費1食あたり235円から261円、小学校は270円から300円、中学生は320円から354円に改定することとなった。</p> <p>月額にすると幼稚園は4,200円から4,700円、小学校は4,700円から5,500円、中学校は5,300円から6,300円となる。</p> <p>ただし、物価高騰による保護者の負担を軽減するため、当分の間は改定前の金額とする。</p> <p>なお、先生など児童生徒以外については、改定後の金額を納入していただく。</p> <p>今年度の給食費の原材料は、4月から7月までは、1食あたり30円くらい値上がりしている。9月以降も値上がり傾向が続いており、昨年と比較すると十数円上がっている。11月からは牛乳の値段が上がったこともあり、12月議会で補正予算を提案する予定としている。</p> <p>補正金額については、今のところ200万円程度になる見込みである。</p>
町長	<p>物価高騰により、県内の市町村でも早い段階で高騰分を支援することを表明している市町村がかなりあった。</p> <p>9月議会の一般質問で、これにどう対応するかという質問があり、いつまでやるかは未定だが、当分の間は物価高騰による保護者の負担を軽減するため、値上げ分は町が支援したいと教育長が答弁したが、私自身もそう思っている。</p> <p>また、委員の皆様からもその方向で良いというご報告を受けていますので、そういう方向で進めていきたい。</p> <p>また、町立の幼稚園と私立の認定こども園の給食費の差額を町が支援しているが、私立認定こども園については、今年度は値上げをしない方向で調整を図っているとのことである。</p> <p>しかし、来年度以降も物価高騰が続く、値上げを考えざるを得ない状況になることも当然想定される。その時は町として、私立に通っている子どもたちにどう対応するかを考える必要があると思っている。</p> <p>町立の幼稚園と私立の認定こども園では、当然やり方が違い、料金にも違いがあるが、物価高騰の影響により、同じ聖籠町の子どもたちの保護者で差が生じることを町としてどう考えていくか、今からある程度整理していく必要があると思っている。</p> <p>同じ町の子どもの物価高騰による値上げ分を、私立公立関係なく支援するべきか、または私立と公立は違うため、私立を希望した以上はそちらの料金で対応してもらうと考えるのか、委員の皆さんの意見を聞きたい。</p>
教育委員	他市町村はどのようになっているか。
子ども教育課長	<p>今のところ情報は入ってきていない。</p> <p>聖籠町の運営している法人は、他市でも運営しているが、今年度は据え置くという決定をしている。次年度については、今検討している最中で、状況がまだわからない状況である。</p>

(別紙) 会議の要旨

	<p>他市町村も、まだ値上げをするかどうか分からないため、補助などの話は出てはいない。ただ、給食だけではなく物価高騰分の支援として国の交付金を活用し、1園あたりいくらという形で補助しているところはある。</p>
町長	<p>まだ状況がわからないので、ここで委員の皆さんから意見が、そのとおり決定するというものではなく、現状の考え方として、どのような方向性で検討すれば良いのかを聞きたいと思う。</p>
教育委員	<p>聖籠町の子供達だから、私立にも支援を充ててあげられれば良いと思う。</p>
教育委員	<p>聖籠町の子供達でするので、支援をするほうが良いと思う。私立でも聖籠町の中の園でするので、町が支援するという考えで良いと思う。</p>
教育委員	<p>私立のこども園の給食費がどのくらいなのかは分からないが、私立に補助するのはどうかと考える。</p> <p>別の形で、保護者支援、子育て支援は行っており、給食費についてはあくまでも個人的な支出であるため、補助についてはどうかと思う。</p>
教育委員	<p>物価高騰だとしたら、聖籠町のすべての子供達が対象の方が良いと思う。</p>
町長	<p>近隣の状況を踏まえながら、改めて内部で検討していかなければいけないと思う。その際はまた意見を聞くこともあるかと思う。</p> <p>今日いただいた意見は今後の検討に役立てていきたいと思う。</p> <p>参考だが、物価高騰により昨年より収入が減ったり、5%以上の経費が増えた中小企業や農家の方に、最大20万円の支援を行うこととしている。</p> <p>物価高騰による事業者支援は、国から各市町村へ一定額の交付金が交付され、それぞれの市町村が実態にあった支援事業を行っているが、聖籠町は普通交付税の不交付団体のため、人口規模で比較すると他市町村に比べかなり少なく、すべて補うほど交付されない状況ではあるが、他の市町村と同様の対応をしていかなければと考えている。</p> <p>国からは、この交付金を活用して、介護、医療、保育の施設に対しても同様の支援をするようにとの通知がきているので、私立の認定こども園に対しても、1施設20万円の支援を行うべきと考えており、12月議会に予算を提案したいと考えている。</p>
総合政策課	<p>(2) 教育大綱について (事務局説明)</p> <p>教育大綱は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で定めるものとされ、策定及び改定についても、総合教育会議において協議するものと規定されている。</p> <p>今回の改定は、教育大綱の基となる第5次総合計画の内容に沿った形で改定するもの。これは前回策定時の総合教育会議で、総合計画に基づいて策定することで合意を得ているため、今回の改定についても同様に行いたい。</p>
町長	<p>これに対して意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それではこの内容で改定を行うものとする。</p> <p>以上で議事を終了する。</p>